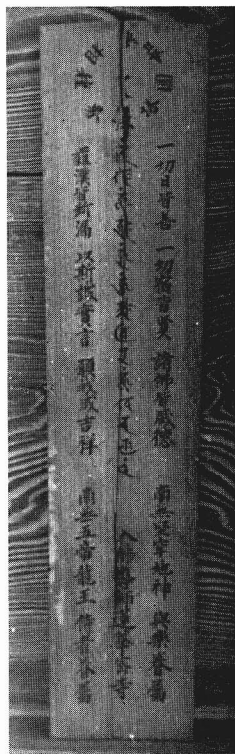




田村山の住吉神社・観音堂・景勝清水の森

寄せ宮の多いのうかがわれるが、藩の政策もあり、館・田村山・石原辺より一、二度もの寄せ宮をしたことがある。清水の傍の境内が立派で、古くからの来由があったからであらうと思う。

2、古墳と館跡 田村山村の東北方の古墳は古くから壇として注意されていたらしく、寛文五年の書上げにも一つは石原村の境をなす壇、一つは灰塚と名づけて、方六間、来由を知らずとある。文化六年の風土記になると、石原村の入会地になっている壇を糠塚というところあり、天明中（一七八一〜一七八八）灰塚より出土品があって、ほぼ古墳という想定がなされたと思う。その詳細は他の項で述べるが、出土品のある、小さいながら前方後円墳



田村山観音堂の明和2年の棟札（鈴木真言撮影）